

# 2021年度 環境経営レポート

(2021年2月1日～2022年1月31日)

発行日 2022年3月31日



〒990-2226 山形市西越25番地  
TEL 023-624-1711 FAX 023-632-0681  
<http://www.isono-body.co.jp>



認証・登録番号 0007795

背景の花は毎年6月になると賑わいをみせる当社のサンパチエンス  
二酸化炭素の吸収能力が他の園芸植物の4～6倍！空気を浄化し、  
「打ち水効果」で周りを涼しくする効果があります。

## 目次

1. 組織の概要	1
2. 認証・登録対象範囲	2
3. 実施体制	2
4. いそのボデーの沿革	3
5. トラックの流通とボデー製作	4
6. 環境経営方針	5
7. 環境経営数値目標	6
8. エコアクション21環境経営の新展開構想	7
9. 企業価値決定要素別活動事例の紹介	10
10. エコアクション21環境経営目標の実績とその評価	19
11. エコアクション21環境目標の実績	20
12. エコアクション21環境経営計画とその取組結果	21
13. 環境関連法等の順守状況, 苦情訴訟等の有無	22
14. 次年度のエコアクション21環境経営目標及び環境経営計画	22
15. 代表者による全体の評価と見直しの結果	23



Fitting Utility Vehicle



七変化するFUV車の内装

# 1.組織の概要

## ■事業所名及び代表者名

株式会社 いそのボデー  
代表取締役 磯野 栄治



## ■所在地

本社・工場 〒990-2226 山形市西越25番地

## ■環境管理責任者及担当者連絡先

- ・ 環境管理責任者: メンテナンス・架装部長 石井 崇
- ・ 連絡担当者 : 人事・総務部長 本間 久美
- ・ 連絡先: TEL023-624-1711 FAX023-632-0681
- ・ Email: kumi.h@isono-body.co.jp

## ■設立年月日

1964年(昭和39年)2月

## ■資本金

3,630万円

## ■事業の規模

- ・ 売上高 1,429百万円
- ・ 従業員数 98人
- ・ 敷地面積 16,250㎡



## ■事業活動の内容

- ・ トラックボデーの製作
- ・ 車検代行
- ・ 自動車整備
- ・ 自動車保険代行

弊社は、山形に拠点を置き全国に自社開発商品アイスキップドア(オートスライドドア)を搭載したトラックボデーや汎用性の高い平ボデーを主力に製造販売し、小型車から大型車のボデー架装、修理等も匠の技術と社員のアイディアを尊重しながら手掛けております。

木製人力荷車の製造から始まった弊社は創業58周年を迎えました。時代の要請に応え続け、半世紀もの長きにわたって培った技術力と斬新な発想力でイノベーションをもたらしています。



【3D設計】



【匠の塗装技術】

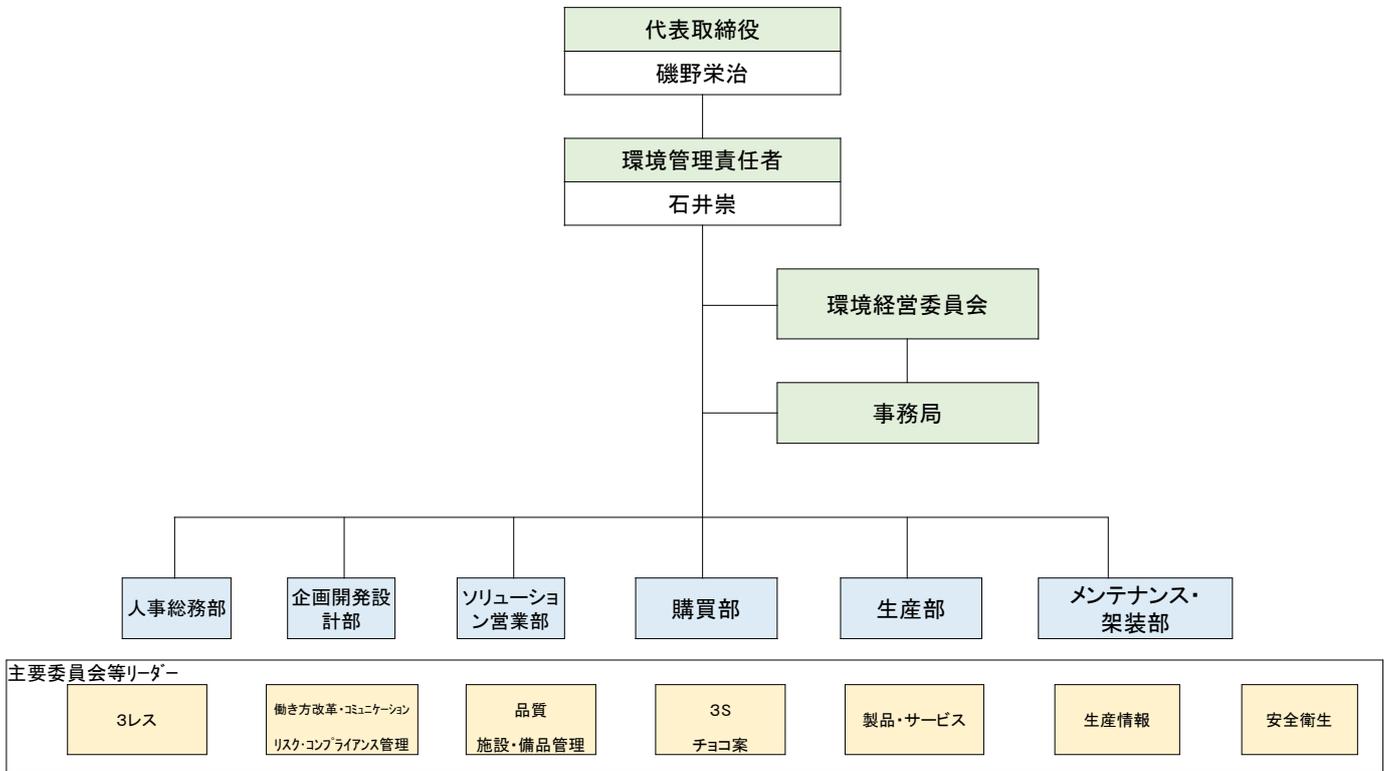


【充実した設備】  
(レーザー・タレットパンチ)

## 2. 認証・登録対象範囲

- ・認証・登録事業者 : 株式会社いそのボデー
- ・対象活動 : トラックボデーの製作, 車検代行, 自動車整備, 自動車保険代行
- ・対象組織 : 本社

## 3. 実施体制



### 【各役割・責任・権限】

代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針を策定する</li> <li>・実施体制を構築する</li> <li>・経営における課題とチャンスを確認にする</li> <li>・環境経営システムの全体的な評価の見直しを行い, 改善の指示を行う</li> <li>・環境への取組に必要な人員, 設備, 費用等を適切に準備する</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムの構築・運用, 維持</li> <li>・環境経営システムの実施状況を代表取締役に報告する</li> <li>・環境経営委員会を開催する</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築・運用に関する事務を行う</li> <li>・外部および内部からの苦情, 要望, 意見等の受付を行う</li> <li>・環境に関する取組への助言, 指導を適切に行う(教育訓練の計画)</li> <li>・環境経営レポートを取りまとめる</li> </ul>
資源・産廃削減活動委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源・産廃等の使用量・排出量を把握し, 削減策を講ずる</li> </ul>
環境経営委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3か月に1回以上開催し, 環境経営に関する活動報告を行う</li> </ul>
全社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針を理解し, 積極的に・自主的に環境活動に取り組む</li> </ul>

## 4. 株式会社いそのボデーの沿革

1952年12月 創業

1964年 2月 株式会社磯野ボデー製作所 設立

1973年11月 山形市西越(現在地)に新社屋・工場を建設し移転

1980年 5月 社名を「株式会社いそのボデー」に変更

1996年11月 貨物車輛の箱型荷室用自動開閉扉(iSkip Door)特許出願

2000年10月 「iSkip Door 1.0」生産開始

2003年12月 iSkip Doorが山形エクセレントデザインセレクション2003「エクセレントデザイン賞」受賞

2006年 7月 貨物車輛の箱型荷室用自動開閉扉(iSkip Door)特許取得

2007年 5月 「iSkip Door 2.0」生産開始

2009年 1月 「iSkip Door 2.5」生産開始

2011年12月 「エコアクション21」認証取得

2012年 1月 「チョコ案」活動開始

2013年11月 創立50周年記念式典開催

2015年 2月 掃除大賞2015「経済産業大臣賞」受賞(日本そうじ協会)

2016年 2月 掃除大賞2016「イノベーション賞」受賞(日本そうじ協会)

2016年12月 「iSkip Door 3.0」生産開始

2017年 6月 山形環境保全推進賞「山形県知事賞」受賞

2017年 3月 「i-Safety」レンタル事業開始

2017年 8月 「FUV」レンタル事業開始

2019年 2月 「健康経営優良法人2019」認定(日本健康会議・中小企業部門)

2020年 2月 「健康経営優良法人2020」認定(日本健康会議・中小企業部門)

2020年10月 「地域未来牽引企業」選定(経済産業大臣)

2021年 2月 「健康経営優良法人2021」認定(日本健康会議・中小企業部門)

2021年 6月 エコアクション21中央事務局より感謝状を拝受

2021年10月 環境ネットやまがたより感謝状を拝受



掃除大賞 2015 「経済産業大臣賞」授賞式

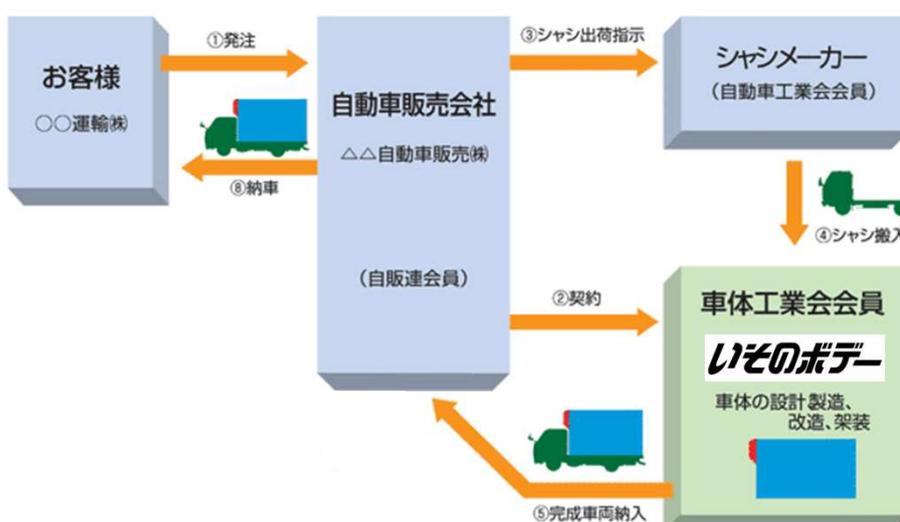


## 5. トラックの流通とボデー製作

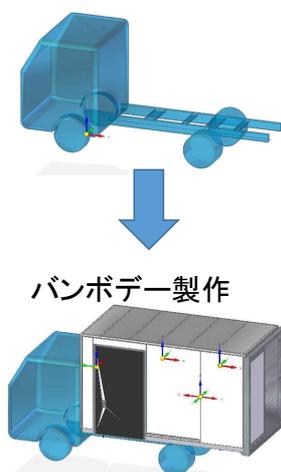
トラックはフレーム部分であるシャシと運転席部分のキャビン、荷台等のボデーで構成されています。トラックメーカーが手掛けるのはシャシとキャビンのみであり、ボデーの製造、据え付けは当社のようなボデーメーカーが担っています。

トラックボデーには、バンボデー(箱型荷台)、平ボデー(屋根がない平らな荷台)などの種類があります。当社では主に大手トラックメーカーが手掛けない重量物を運ぶ平ボデーや重機積ボデー、自社製品である箱型荷室用自動開閉扉「iSkip Door」を搭載したバンボデーを製造しています。

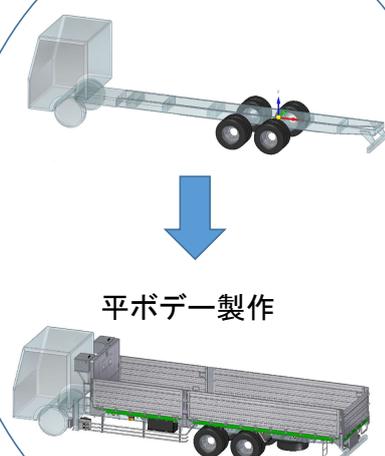
商用車の流通（冷凍バン型車の場合）



【バンボデー】



【平ボデー】



## 6. 株式会社いそのボデー環境経営方針

### ◆環境経営理念

私たち、株式会社いそのボデーは全人類が直面している地球温暖化問題を私たち自身の問題と認識し、多様なトラックボデーの開発設計・製造・メンテナンスに関わる事業活動を通じ、すべてのステークホルダーの利益・事業・生活・環境等をより豊かにしていく持続的な企業経営を目指してまいります。

### ◆環境経営行動指針

1. エコアクション21環境経営システムを構築・運営し、環境への取り組みを継続的に行います。
2. 企業活動に伴う環境負荷を軽減するために、二酸化炭素排出量、水使用量、廃棄物の排出量の削減及び有害化学物質の適正管理に努めます。
3. 製品製造において改善活動を継続し、リードタイムの短縮や廃棄物の削減に努めます。
4. 環境に配慮した製品・サービスの充実化を図り、お客様の環境保全活動の支援に努めます。
5. お客様から満足いただける高機能・高品質なボデーを提供し、社会の安全・安心に寄与します。
6. 環境関連法規等を遵守します。
7. 全従業員に対し環境経営方針を周知すると共に、必要な教育訓練を行います。
8. 心身ともに健康でゆとりある職場環境を目指します。
9. 地域活動や社会貢献活動に積極的に取り組みます。
10. 環境経営レポートの公表を通じて、当社の環境への取り組みを発信してまいります。

2011年3月1日 制定  
2019年2月1日 改訂  
2020年2月1日 改訂  
2021年2月1日 改訂



株式会社 いそのボデー

代表取締役

磯野栄治

## 7. EA21環境経営数値目標（単年度及び中長期目標）

付表2及びp.19, 22に 記載した環境経営計画のうちエコアクション21ガイドライン要求事項6.(2)との関連性が大きい事項を“EA21環境経営目標”とします。

環境目標		単位	基準	中期目標		
			2016～2018 年度 平均	2019年度 (2月～1月)	2020年度 (2月～1月)	2021年度 (2月～1月)
二酸化炭素総排出量の削減		kg-Co <sub>2</sub> /月	272,382	269,658	266,961	264,291
環境負荷削減	1. 電力使用量の削減	kwh/月	273,777	271,039	268,328	265,645
	2. ガソリン使用量	L/月	15,136	14,984	14,834	14,686
	3. 軽油使用量の削減	L/月	5,105	5,053	5,003	4,953
	4. 灯油使用量の削減	L/月	52,100	51,579	51,063	50,552
	5. LPG使用量の削減	kg/月	1,107	1,095	1,084	1,073
	一般廃棄物	t/月	17,146	16,974	16,804	16,636
	産業廃棄物	t/月	155,638	154,081	152,540	151,014
	総排水量(水使用量)	m <sup>3</sup>	1,743	1,725	1,708	1,691
	化学物質(PRTR対象)	kg	4,338	4,294	4,251	4,208
環境に配慮した生産	不具合件数の低減	件数		162	146	132
	3レス取組(製作工数削減)	%		0	31	31
	働きやすい職場作り (カエル会議)	件数		各チーム月1回 以上開催	各チーム月1回 以上開催	各チーム月1回以上 開催
	社員チョコ案提出率 100%の継続	%	100	100	100	100
	製品・サービスの環境負荷削減 に関する目標	ハンボテ-のリサイクル可能率を95%以上にし「新環境基準適合ラベル(ゴールドラベル)」を取得する 平ボテ-のリサイクル可能率を95%以上にし「新環境基準適合ラベル(ゴールドラベル)」を 取得する				

※購入電力CO<sub>2</sub>排出係数は、エバーグリーン・マーケティング㈱の令和2年度の調整後排出係数0.44kg/kWhを用いた。

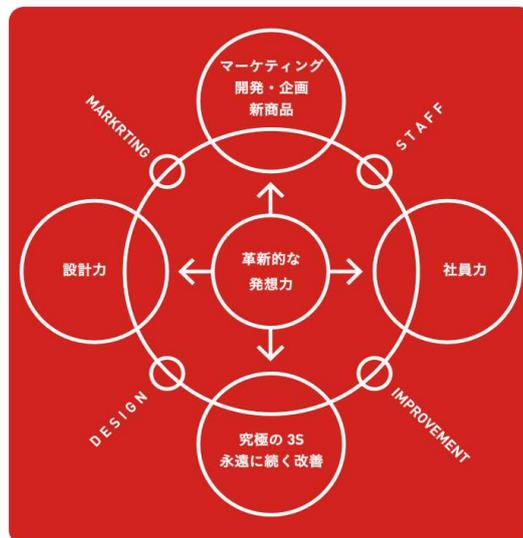
環境経営の具体的目標は企業価値決定要素の内容充実であり、また事業活動における環境負荷は企業価値決定要素の内容充実を目指して行う全ての活動の総合結果(指標)として現れるという基本的な考え方にに基づき(第4章参照)、2021年度の環境経営目標及び環境経営計画を第12章に記載したように、また環境経営数値目標を上記のように策定しました。

## 8. エコアクション21環境経営の新展開構想

エコアクション21(EA21)ガイドライン2017年版は、これが企業価値を高めるツールとして機能することを目的としています。したがって、EA21の認証・取得事業者における環境経営の目的は企業価値を高めることです。当社、(株)いそのボデーがEA21環境経営において目指す企業価値は、次のように考えることができます。

“トラックボデー及びその発展応用多機能製品である保管BOXの提供を通じて、収益体質堅持の下、持続的に発展、社会に貢献するリーディングカンパニー”

これに関する事項は企業案内の『代表挨拶』及び『経営理念』に記載されています(『付図1. 企業理念概念図』参照)。



付図1. 企業理念概念図

EA21環境経営によって企業価値を高めようとする場合、企業価値を構成する具体的要素(企業価値決定要素)を明確にし、その内容充実に努めることが求められます。企業価値はそれら企業価値決定要素に関する取組み活動の総合結果として現れるものであると考えられます。

各企業価値決定要素に関連する事項(これが具体的環境経営計画に相当する)は多岐にわたります。当社の場合、『企業理念概念図』に記載された事項が企業価値決定要素と密接に関係します。『企業理念概念図』を基に、またEA21ガイドライン2017年版の要求事項を参考にして企業価値決定要素を次のように決定しました。

付表 1. (株)いそのボデーが考える企業価値決定要素

No.	企業価値決定要素	関連事項等
①	環境負荷削減	二酸化炭素・産業廃棄物の排出量、水・化学物質使用量の管理
②	製品開発・販売	製品・サービスラインアップ、製造・販売力
③	顧客満足	製品・サービスのアフターフォロー
④	施設・設備管理	導入・維持
⑤	リスク管理	緊急事態、自然災害、社会動向
⑥	コンプライアンス	法令遵守、社会的責任
⑦	コミュニケーション	組織力、地域・社会連携
⑧	人間尊重	労務管理（働き方・福利厚生・健康管理）、労働安全・衛生
⑨	総合的環境経営管理	収益性、事業活動の環境負荷評価、EA21 環境経営活動の推進

エコアクション21環境経営では、①二酸化炭素排出量、②廃棄物排出量、③水使用量、④化学物質排出量削減を目指して活動することが必要条件として求められています。このうち、二酸化炭素排出量を例に考えると、これは電力や燃料の使用量によって決まるために、エコアクション21環境活動では、多くの場合、照明や動力の効率的な使用、エコドライブ等の“節約活動”を具体的な環境経営活動として取り上げられています。しかし、製品不良率を下げることによって無駄な作業を削減すること、製品歩留まりは同一でも使用設備、製造方法、技術熟練度によって作業効率が変わり、これによっても環境負荷は異なる。自然災害に対する備えが不十分であったために想定外の環境負荷が発生することも考えられます。このように一口に“環境負荷”と言っても、これに関連する事項は多岐にわたります。

したがって、仮に“エコアクション21の目的は環境負荷の削減である”と考えた場合でも、この環境負荷に関連する事項は極めて多岐にわたります、むしろ事業活動(会社経営)で実施している全ての事項が環境負荷の決定に関わると考えるべきです。企業価値を高めるツールとしてエコアクション21を機能させるためには、事業活動で実施している事項を企業価値決定要素別に徹底的に抽出・整理し、そのうち事業経営にとって重要な事項を環境経営計画として取り上げること、また電力使用量、廃棄物排出量のような環境負荷項目と1対1の関係で環境経営計画は策定しないことが“企業価値を高めるツールとしてのエコアクション21”にとって相応しいものであると考えられます。付表2は、事業活動で実施している事項を企業価値決定要素別に整理したものです。

付表2. 企業価値決定要素への具体的対応

No.	企業価値決定要素	具体的対応事項	詳細
①	製品（商品）の開発・販売	商品・サービスラインアップ充実	自社営業，ゴールドラベル
		力量向上	従業員採用，技術研修，3レス活動，マニュアル整備
		環境負荷削減	CO <sub>2</sub> 排出量（電力，燃料），廃棄物排出量，水使用量，化学物質使用量
②	施設・設備管理	施設・設備の導入計画	前期集中的に行ったので維持管理
		施設・設備の使用及び維持管理方法	法定点検・年次点検・特定自主検査等・月次設備点検表活用
③	リスク管理	緊急事態対応（環境汚染，自然災害）	想定と未然防止策，対応訓練
		B C P	新型コロナ対策を踏まえ自社B C Pを策定
④	コンプライアンス	環境関連法規等の一覧表作成と更新	廃棄物管理，危険物管理，PRTR 対応
		従業員教育，法定要求事項への対応	品質方針の策定周知・法令勉強会の実施
		製品の安全性の追求と検査体制の充実	入出庫時の検査体制・アフターサポート
⑤	コミュニケーション	従業員教育，情報の共有化	教育計画，全社集会，定例会議
		改善提案	チョコ案
		情報収集	業界団体への参加・各種セミナー講演会の参加・JCOMaaS 活動参加・J-GoodTech（ジェグテック）活動参加
		地域連携・貢献	会社周辺清掃，交通安全呼掛け
		情報公開・発信	会社案内（PROFILE），環境経営レポート，ホームページ（ <a href="https://www.isonobody.co.jp/">https://www.isonobody.co.jp/</a> ）
⑥	人間尊重	働き方改革；働きやすい職場	カエル会議の実施と活動資金支援によるコミュニケーション向上 カエル会議共有会の実施・全社員と面談実施
		健康・安全・衛生管理	3 S 活動，職場巡視，健康診断，作業環境測定，エコドライブ研修会
		労働安全衛生	
⑦	総合的環境経営管理	環境経営システムの構築・運用	EA21 認証・登録，経営理念，経営方針・目標・計画
		目標管理と評価	

エコアクション21環境経営の新展開構想をもとに取組を開始しました。

## 9. 企業価値決定要素別活動事例の紹介

(株)いそのボデーにおける環境経営にとっての最重要事項は、お客様に満足していただける高機能・高品質のトラックボデーを環境負荷のミニマム化を図った状態で製造・提供することです。

### 9.1 製品(商品)の開発・販売

#### (1) 製品(商品)の開発・販売

##### ◇新環境基準適合ラベル(ゴールドラベル)の取得

弊社製品ラインナップである「ドライバン」及び「平ボデー」について日本車体工業会の新環境基準ラベル(ゴールドラベル)の適合を申請し、2021年11月に交付承認を頂きました。これは機種別解体マニュアルの作成やリサイクル可能率95%以上などといった環境に配慮した製品がエコアクション21などの第三者機関による環境認証取得工場で生産されていることを認定したものです。これからも環境にやさしいトラックボデーの拡大を目指してまいります。



《適合基準》

- ・3R(リデュース・リユース・リサイクル)
- ・判断基準がドラインの作成・活用)
- ・製造者名、樹脂部品材料名の表示
- ・解体マニュアルの作成・公開
- ・車体製品部材のリサイクル可能率95%以上
- ・車体工業会における「環境負荷物質自主取組基準」を満たしている
- ・ISO14001やエコアクション21など、第三者機関による環境認証取得工場で生産されている

※解体マニュアルは当社のホームページで公開されています。

#### (2) 力量向上

各係で技術勉強会を実施しています。ベテラン社員から若手社員へ、ベテラン社員は再確認を行いながら後輩社員へ技術指導を行っています。今年度は74件の勉強会を行いました。

教育訓練記録				実施日時
教育記録	係	受講者氏名	実施場所	2021年8月24日
	係	武田	塗装係	塗装工場
No.	所属	受講者氏名	有効性評価(コメント)	
1	塗装	武田	パナソニックのボデーの作りが5分かつ、色も綺麗です。	
2	塗装	佐藤	パナソニックのボデーの作りが5分かつ、色も綺麗です。	
3	塗装	佐藤	パナソニックのボデーの作りが5分かつ、色も綺麗です。	
4	塗装	佐藤	パナソニックのボデーの作りが5分かつ、色も綺麗です。	
5	塗装	佐藤	パナソニックのボデーの作りが5分かつ、色も綺麗です。	
6	塗装	佐藤	パナソニックのボデーの作りが5分かつ、色も綺麗です。	
7	塗装	佐藤	パナソニックのボデーの作りが5分かつ、色も綺麗です。	



#### (3) 顧客満足

##### ◇納車実績報告

納車時に、担当営業者が納車実績報告作成しております。「お客様からの声」「ディーラー様からの声」「担当者のメモ」を記録として残し、次回の商談や車体製作に活かしています。今年度は74件のアンケート調査にご協力をいただきました。弊社のホームページ内に「納車実績のご報告」として仕様名と車輛の写真を掲載しております。

**お客様からの声**  
打ち合わせ通りの仕様で、作りもきれい細かいところも丁寧で非常に満足。事前に送付頂いていた画像の給油口の所もきちんと対応頂きこれなら給油問題なくとのことでした。

**フロアフックの数や位置** 何度も打ち合わせ頂き完璧です  
**フロア塗装** 塗装非常にきれいです

**ディーラー様(リース会社様)からの声**  
初めていそのさんのボデーみただけ良い出来ですね。



【クレーン・ウインチ付き重機運搬ボデー】

#### (4) 環境負荷削減

##### ◇社有車の燃費確認とエコドライブの勉強会

月/日	走行距離(km)	燃料(ℓ)	給油した人	備考
3/3	114931k	20ℓ	五十鈴	立入り
3/7	115323k	16ℓ	海谷	落合
3/10	115750k	17ℓ	松山(池)	落合
3/14	116251k	19ℓ	浅野	落合
3/17	116693k	17ℓ	五十鈴	"
3/22	117118	18ℓ	五十鈴	"
3/25	117621k	20ℓ	海谷	"
3/28	118091k	18ℓ	"	"
3/31	118548k	16ℓ	五十鈴	"



社有車燃費計算書

社有車の燃費を算出するために1台1台に燃料補給時に走行キロと給油数量を記入する用紙を入れてあります。毎月1台ごとの燃費を集計し新車購入時の参考にしています。今年も1台営業車にハイブリッド車を購入しました。また新入社員を対象に「ふんわりアクセルスタート」や「エアコンの使用は適切に」などの10カ条をエコドライブ座学として勉強会を実施しました。

##### ◇産業廃棄物

産業廃棄物用のコンテナに当社のアイデアが採用されています。一つは木くずを入れるコンテナに雨雪の対策として脱着可能な屋根を製作し取りつけています。もう一つはコンテナが満杯になり業者さんの手配を必要とするときに手配済かどうかの確認が一目でわかる板をコンテナに取りつけています。通常は緑色ですが満杯になると総務に連絡して手配してもらおうと板をめくって赤色にします。こうすることにより連絡のムダが省けます。



木くず専用産廃コンテナに屋根を取り付けました。(脱着式)



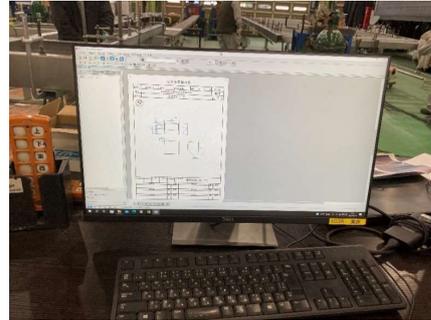
コンテナ交換手配を連絡済であることの通知!

## 9.2 施設・設備管理

### ◇工場の各作業場にパソコンを設置(情報の共有とペーパーレス化)

工場の各作業場にパソコンを設置し、作業指示書や作業工程進捗状況をモニターに映しています。

工場事務所に移動することなく作業員がいつでも作業場で確認できるようになり、情報の共有化とペーパーレス化にも繋がりました。



### ◇屋上看板の塗り替え

当社の看板をお色直しました。

昼は青空に映え、夜はライトアップされ夜空に映えます。

これで当社施設のライトが全てLED化されました。

エコに加え、当社のPR効果もアップしました。

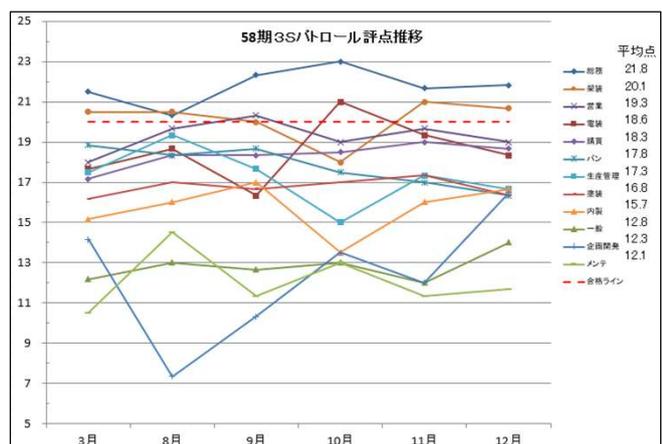


### ◇3S(整理・整頓・清掃)活動

3S委員会では工場・事務所の月に1度「3Sパトロール」を行っています。

整理・整頓・清掃がなされているか、維持するための仕組み作りができているかなどを判定基準に点数化されます。毎月フィードバックされることで、良い点の維持や改善点の見直しができ、改善意識の継続に繋がっています。

当社では「工場のショールーム化」としてお客様が喜んで見学に来るような工場づくりを進めています。



### 9.3 リスク管理

#### ◇緊急対応訓練

##### ・消火訓練

安全委員と各係1～2名の参加で消火訓練を実施しました。

火災発生・発見時の対処法及び消火器の取り扱いを学び再確認することで、安全に落ち着いて行動できるようになります。会社以外の場でも役に立つことです！



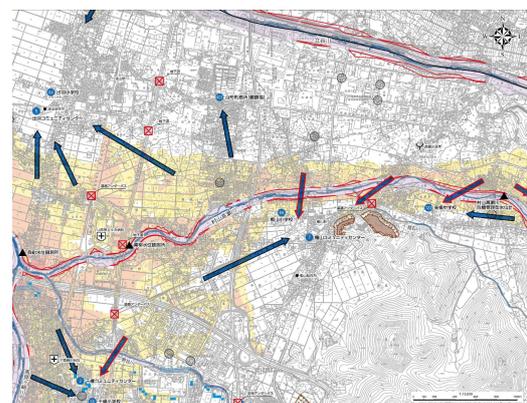
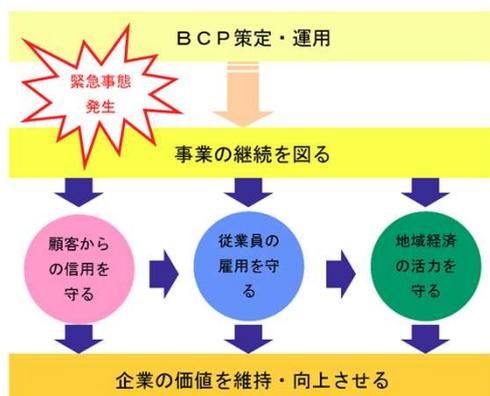
##### ・油汚れの処理

メンテナンス部員にてオイルクリーン(トラスコ)吸着剤での油汚れ処理方法について訓練を実施しました。環境への影響が少ない処理方法を実技で学び共有しました。



#### ◇BCP策定

緊急事態発生時には、事業の継続を守り維持することが必要となります。「顧客から信用を守る」「従業員の雇用を守る」「地域経済の活力を守る」ためにも、弊社では自然災害・地震災害・感染症対策の3つのBCP策定に取り組んでおります。



会社周辺ハザードマップ

## 9.4 コンプライアンス

コンプライアンスは法令遵守だけでなく、顧客、社会に対しての責任・約束の履行を含むものであると考えます。

### ◇不具合発生と対策

昨年より、発生した不具合の内容、再発防止策などをまとめた資料を作成していましたが、月に1度行っている全体会議にて関連部門より説明をしてもらうようにしました。製作過程において、該当する内容に対する質問や内容追加などの問い合わせがあり、社内での周知や意識付けに繋がったと実感しています。

## 9.5 コミュニケーション

エコアクション21環境経営システムの構築・運用の目的の一つは組織力の強化、顧客信頼性の確保にあり、その基本は社内及びお客様とのコミュニケーションの円滑化を図ることにあります。

### ◇社内報の発行

弊社の社内報「ISONOだより」は2020年10月に創刊号が発行され、2021年11月に第4号の発行に至りました。「いそのボデー」の魅力が詰まった手作り社内広報誌で、社内活動を紹介する場、社員の頑張りを共有する場、社員のプライベートが覗ける場などになっています。



### ◇いそのボデーHP

弊社のHPでは、会社概要、製品・事業紹介、各種カタログの配布などを紹介しています。その他に、納車実績の紹介やブログの日々更新、また、品質・環境への取組についても内容を毎年更新しています。



### ◇顧客満足 デジタル検収

当社の営業エリアは全国を対象としております。しかし、遠方のお客様は車両検収にお越しいただくことが難しく、また、この時世では対面接触を避けたいといったご要望もあるかと思えます。そこで当社では【デジタル検収】を実施しております。トラック製造過程の写真や出荷前の完成写真を撮影し、お客様や販売店様へメール送付しております。納車までの進捗報告・情報共有を実現し、安心して納車日を迎えていただけます。また、リモートによる検収により県外移動や対面接触の回数を削減しております。



## 9.6 人間尊重

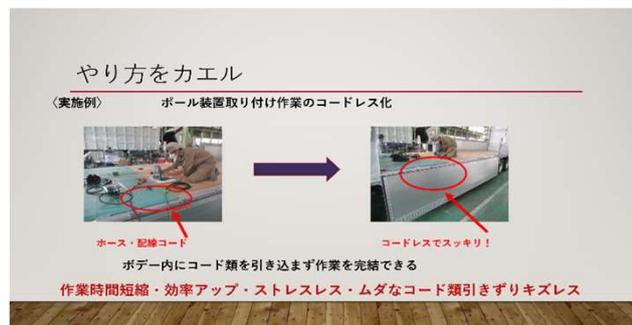
### ◇カエル会議

●カエル会議とはチームの「働き方」について意見を出し合う定期的なミーティングです。問題解決のためには「理想的な状態と現実のギャップを埋める作業」が必要となり、カエル会議はそのギャップを埋めるための意見交換・改善模索の場となります。部署ごとにチームを作り、それぞれのチームで様々な改善活動を行いました。



普段は思うところはあっても話せない。でもカエル会議は付箋を使って書き出すので意見やアイデアが活発になる場となっています。

●カエル会議活動報告会を2回開催しました。会場を2つに分けzoomを用いることで、ソーシャルディスタンスを保ち、コロナ禍でも全社員での情報共有を実現しました。部門内の働き方改革活動活性化や部門間のコミュニケーション向上に繋がりました！



●株式会社ワーク・ライフバランス様のホームページに、「働き方改革で成果を出した実例」として(株)いそのボデーの塗装係“チーム魔術師”が“カエル会議”により、残業削減40%！個人の技術も組織力も向上したことが紹介されました。

掲載記事URLはこちら → <https://work-life-b.co.jp/case/isonobody.html>



↑こちらのQRコードからもご覧になれます



## ◇安全衛生委員会活動

●毎月第一水曜日に「安全衛生パトロール」を行っています。保護具着用の徹底や不安全な箇所を写真に撮ってメンバー及び管理職にメール配信することによって、情報を共有し、危険度の高いところはすぐ対応するようにしています。今年度も労災が発生してしまいました。脚立からの転落事故も発生したために応急対策として脚立に滑り止めを貼り付けました。新型コロナウイルス感染対策としては毎月行われる安全衛生委員会において産業医の先生から現状の様子と対策などをお伺いして感染防止に努めています。毎年2月に安全・健康第一をモットーに全社員で決起大会を開催しています。

また、社員が毎日打刻を行う際に目にするPCに労働災害ゼロ日数のカウンターを設置しました。労災に対する意識付けになっています。



●全社員へ向け安全標語の募集を行っています。春、夏、秋、冬をテーマに年4回、毎回沢山の標語が集まります。全社員の投票で最優秀賞、優秀賞、佳作を選定し表彰します。標語を考える時間や他者の標語を見る時間は、安全や健康と向き合う時間となり、とても有意義な活動です。

**安全標語2021年 表彰作品**

～春～  
忘れるな ルールがあること 守ること 習慣にしよう 安全確認

～夏～  
自他ともに 異変に気付け 熱中症

～秋～  
怖いのは危険箇所より、あなたの油断  
だいじょうぶ!! 他人が見たら だいじょうぶ?

～冬～  
雪の朝 時間にゆとりの 安全出社

←各回の最優秀賞作品のご紹介

## ◇健康経営教室

エコアクション21の取組み(清掃活動)と人事総務部の取組み(ラジオ体操で健康づくり)を合同で実施しました。それと同時にコロナ禍の中全社員が集合することは難しいために、人事総務部のアイデアにより、全社員を対象に大抽選会も行われました。



### 清掃活動&ラジオ体操大抽選会のお知らせ

日時	11月6日(土)・会社周辺の清掃活動 午前8時20分～8時30分 ・ラジオ体操 午前8時37分～
場所	清掃活動の班編成と清掃担当場所は別紙のとおり ラジオ体操はモータープール
抽選	パッカー車前にて ゴミを捨てた人から抽選

## ◇社員の安全確保と地域貢献

### ・側溝砂利上げ

周辺地域からの要請により、稲作時期前に弊社駐車場脇の側溝清掃を行いました。除雪時に雪と一緒に砂利も側溝に押し出していることなどもあり、年1度この時期に清掃を行っています。農家の方もきれいな水を田畑に使用してもらっています。また清掃することにより社員駐車場の車両を止める位置が把握しやすく、スペースを無駄なく使用できるようになりました！事故防止にもつながります。



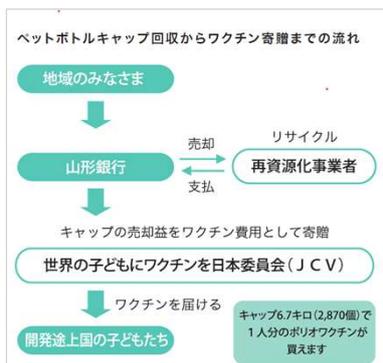
## ◇地域の環境保全

2021年11月に全社員で会社周辺の清掃活動を行いました。昨年は新型コロナウイルス感染防止のため中止としましたが、今年は感染状況を配慮して実施し、地域の美化活動に貢献できました。大きいゴミが落ちており、拾うことで安全にも繋がりました。

環境活動・コミュニケーション記録表(社会奉仕活動)			
■作成日: 2021年11月8日	代表者		
■作成者: 田中秋香			
実施日時	2021年11月8日	9:20~9:30	場所: 会社周辺道路
種別	一般・専門・特別・奨励	対象者	経営者・管理系・現場社員・役員等・一般社員
種別	ボランティア清掃	参加者	会社周辺清掃者
使用機材等	塵じ	配付資料等	塵じ
目的	ゴミのない環境の維持		
参加者	全社員		
内容	<p>4部に分かれ会社周辺道路のゴミ拾いを行った。</p> 		
教育の効果 (感想・反省等でも可)	<p>多量なゴミが落ちており、拾うことで安全にも繋がりました。塵じを清掃してきれい</p> 		

## ◇エコキャップ推進運動(子どもたちの未来と環境を守る活動)

夏場には社員にペットボトルの水を支給しています。これらのペットボトルキャップを収集し、山形銀行流通センター支店様を通じ、世界の必要とする子供たちへのワクチン提供に貢献しています。キャップをリサイクルすれば6.7キログラム(2,870個)で1人分のポリオワクチンが購入できます。世界の子どもたちを守るためにこの活動を継続していきます。さらにペットボトルは連携している業者さんからリサイクルを行っていただいております。



## ◇組織活性化と職場環境改善

エコアクション21認証・登録10年目を迎えました。2021年8月に一般財団法人持続性推進機構 エコアクション21中央事務局様より、11月には特定非営利法人環境ネットやまがた様より10年の継続環境経営の取組みに対し感謝状をいただきました。

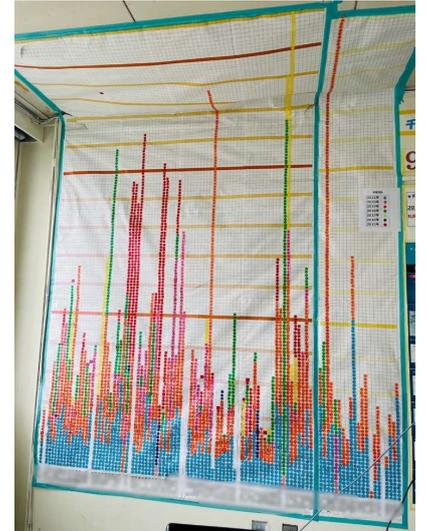
11月に環境ネットやまがた様より当社のエコアクション21の取組みを優れた活動事例として推薦され、その概要を「エコアクション21フォローアップセミナー」において紹介させていただきました。今後もより一層、持続可能な環境経営活動に取り組んで参ります。



## ◇チョコ案(改善提案活動)

チョコ案とは、2012年から始まった「ちょこっとした改善提案」で、チョコやあんこのように甘々な改善提案制度です。社員全員が月に1件以上の改善提案を行っています。2014年5月から92か月一人1件以上の提出が継続中です！  
 小さな改善を積み上げることで会社の大きな改善、発展につながると考えています。優れたアイデアや多くのアイデアを出した社員に対する年間表彰も行っています。この活動は“考えて仕事をする集団”の基本になっています。

右のグラフは提出1件につき1枚のシールが貼られた天井まで伸びるグラフです。

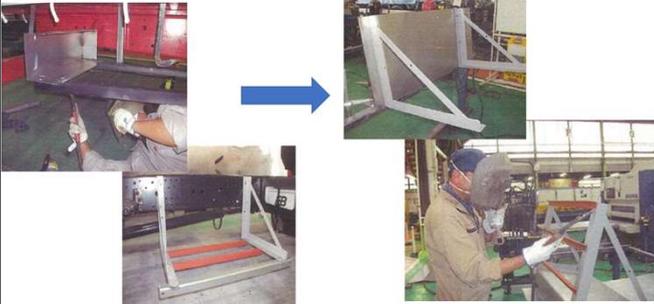


## 《 2021年度の年間表彰チョコ案 》

### 社長賞

改善前：シャシに工具箱アングルを付けてから下面アングル溶接をしていたので体勢が悪く時間もかかる

改善後：治具工作し約40分工数削減、体制も良く品質向上



### 優秀賞

改善前：クレーンワイヤー交換の際、振れないようにするため、一度地面に延ばす必要があり50m以上もワイヤーを転がすのが重労働だった。

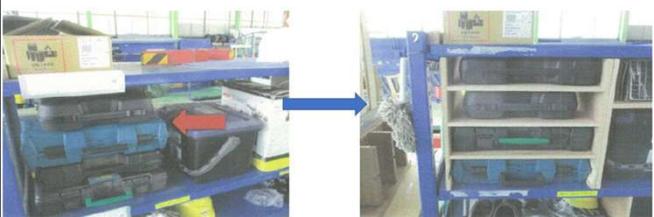
改善後：ワイヤー用の回転する台を作り、直接クレーンで巻き取れるようにした。



### 入賞

改善前：積み上げた状態で下の物が取りづらかった

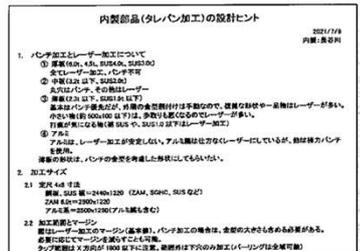
改善後：仕切りをつけて棚を工作



### 優秀賞

改善前：ネスティングに使用する展開図が設計する人によって違いがあり、それにより間違えて製作することもあった。

改善後：展開図のルールの確認と、効率的になる設計ヒントの資料を作成し勉強会を行った。



## 10. EA21環境経営目標の実績とその評価

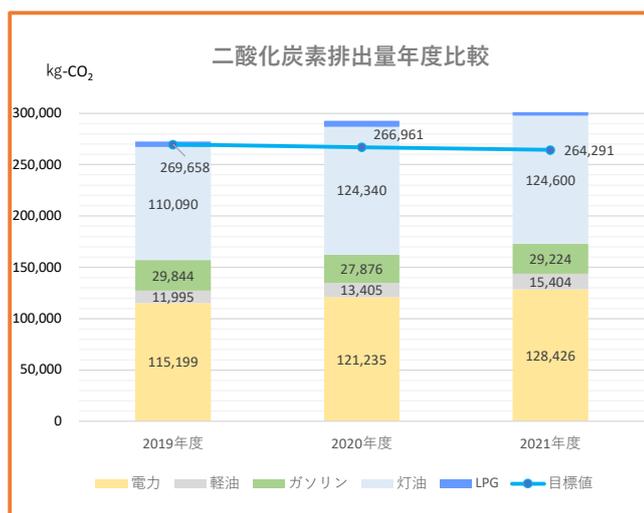
環境目標		単位	2016～ 2018 年度平均 基準	2021年度		評価
			目標	実績		
二酸化炭素総排出量の削減		kg-CO <sub>2</sub> /月	272,382	264,291	301,331	目標数値は未達成。前年は新型コロナウイルスの影響で前半業務量の低下の影響があったが今年度は業務量の増加に伴いほぼすべてにおいて二酸化炭素の排出量が増加した。
環境 負荷 削減	1. 電力使用量の削減	kwh/月	273,777	265,645	291,878	目標数値は未達成。残業時間の増加などにより電力使用量が増加した。
	2. ガソリン使用量	L/月	15,136	14,686	12,587	目標数値は達成。車の移動減少、リモートを活用し遠方出張の減少によるもの。
	3. 軽油使用量の削減	L/月	5,105	4,953	5,870	目標数値は未達成。昨年に続き大雪のために除雪車の稼働が多かったことで使用量が増加した。
	4. 灯油使用量の削減	L/月	52,100	50,552	50,001	目標数値は達成。主に塗装作業の塗料の乾燥用に使用。今年も寒さが厳しく暖房機器に多く使用したが目標はクリアできた。
	5. LPG使用量の削減	kg/月	1,107	1,073	592	目標数値は達成。乾燥炉で使用するが、炉の効率的な活用による。
	一般廃棄物	t/月	17,146	16,636	11,750	目標数値は達成。ペーパーレス化が進んでいること、資料などもメールでやり取りしているため紙は減少してきている。
	産業廃棄物	t/月	155,638	151,014	158,869	目標数値は未達成。歩留まり率は向上しているが自社製作部品増加により全体としては増加した。
	総排水量(水使用量)	m <sup>3</sup>	1,743	1,280	1,216	目標数値は達成。主に洗車や生活用水に使用している。
	化学物質(PRTR対象)	kg	4,338	4,208	3,234	目標数値は達成。主に車体塗装に使用。昨年対比、台数の増加。
環境 に 配慮 した 生産	不具合件数の低減	件数	/	132	178	目標数値は未達成 社外不具合121件・社内不具合59件計178件。社内不具合は8件減少しているが、社外不具合が35件増加してしまった。
	3レス取組(製作工数削減)	%		31%	—	工数削減取組継続中
	働きやすい職場作り(カエル会議)	件数		各チーム月1回以上開催	月1回以上開催できたチームはゼロ	コロナ感染防止のために会議体制が衰退してきたが延べ33回の会議を行った。
	社員チョコ案提出率100%の継続	%		100%	100%	100%
製品・サービスの環境負荷削減に関する目標	パンポテーのリサイクル可能率を95%以上にし「新環境基準適合ラベル(ゴールドラベル)」を取得する					11月に「新環境基準適合ラベル(ゴールドラベル)」を取得済み。2022年1月より該当車輻に貼る。
	平ポテーのリサイクル可能率を95%以上にし「新環境基準適合ラベル(ゴールドラベル)」を取得する					11月に「新環境基準適合ラベル(ゴールドラベル)」を取得済み。2022年1月より該当車輻に貼る。

# 11. EA21環境経営目標の実績 (環境負荷集計値のグラフ化)

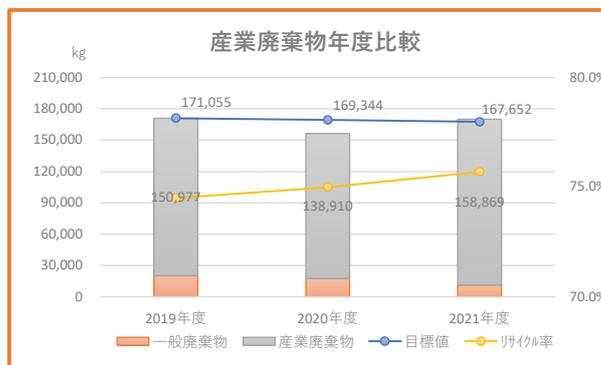
## ■ 二酸化炭素排出量年度比較表

		2019年度	2020年度	2021年度
目標値	CO <sub>2</sub> 排出量	269,658	266,961	264,291
実績値	CO <sub>2</sub> 排出計	272,382	292,756	301,332
	電力	115,199	121,235	128,426
	軽油	11,995	13,405	15,404
	ガソリン	29,844	27,876	29,224
	灯油	110,090	124,340	124,600
	LPG	5,254	5,900	3,678

(単位: kg-CO<sub>2</sub>)



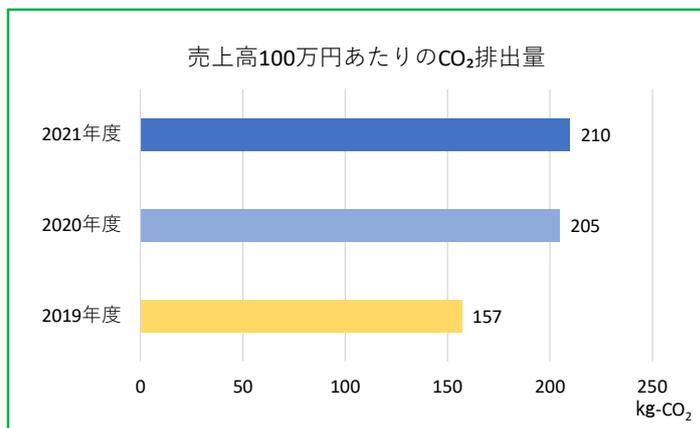
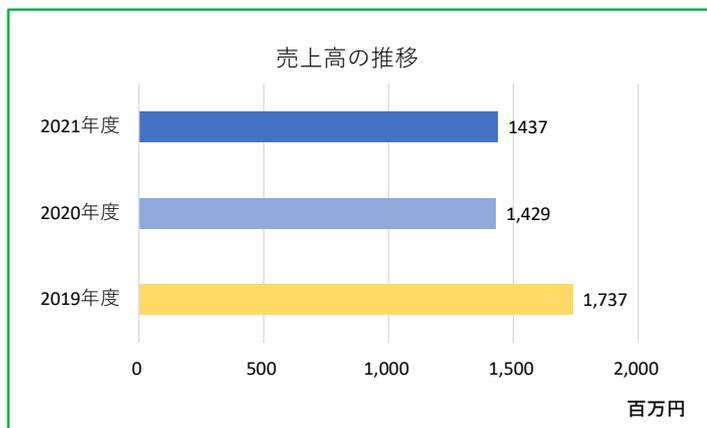
## ■ 産業廃棄物排出量



## ■ 水使用量



## ■ 化学物質使用量



## 12. EA21環境経営計画とその取組結果

評価 ○十分に取組んだ △ある程度取組んだ ×取組不十分

企業価値決定要素	環境経営目標	環境経営計画(取組内容)	取組結果及び評価	総合評価	
1	環境負荷削減	二酸化炭素排出量の削減(基準年度3%削減)	* ノー残業デーの実施(第一水曜日)の継続アナウンス * 車両の点検及び走行記録(燃費)の徹底	毎月第一水曜日実施。納期等の都合で全社一斉には至らず 毎週水曜日点検継続。1台ごとの燃費集計し新車購入時の参考にする	△ ○
		一般廃棄物と産業廃棄物量の削減(基準年度3%削減)	* 分別の徹底	廃棄物の分別の徹底	○
		水使用量の削減(前年度1%削減)	* 用水の適正使用(節水の呼びかけ)継続	手洗い場に節水要請表示	○
		化学物質対応の管理	* 特殊健診の実施・作業環境測定の実施・PRTR使用量の届け出	5月,11月に特殊健診及び作業環境測定実施。5月PRTR使用量届出済	○
2	製品開発・販売	製品開発・サービスの充実	* モデル毎の新環境適合ラベル(ゴールドラベル)取得 * 標準ボデー・標準パーツの三次元化	ドライバン・平ボデーの新環境適合ラベル(ゴールドラベル)を11月に取得 新規設計システム構想継続	○ ○
		標準化台数の拡大と作業工数の削減	* 3レス活動(シャーシレス・設計レス・スキルレス)による作業工程改善の実施	UTモデル車の工数平均54時間削減	○
		受注から出荷までのリードタイム削減	* 新基幹システムを活用した整流化促進(生産情報課立上げ)	モジュール生産体制計画継続	△
		技術力の向上	* 技術の伝承・作業マニュアル作成	各作業別マニュアル作成の継続	○
3	顧客満足	完成車イメージの共有化	* 三次元画像、データによる提案・設計の三次元化促進	3次元CAD機能の活用継続	○
		車両製作プロセスの共有化	* 車両のデジタル検収実施	デジタル検収の実施41件	○
		「顧客の声」収集とフォロー	* 納車車両アンケート実施と社内データ化と有効活用	納車アンケート74件。分析結果まとめ	○
4	施設・設備管理	設備・機械の維持管理の徹底	* 法定点検・年次点検・特定自主検査・月次点検表活用	計画に従い、特定自主検査を4件実施	○
		効率を上げ負荷を軽減するための3S活動の継続	* 部門に合わせたパトロール活動と部門間連携態勢構築	3Sパトロール及び委員会実施年間優秀賞表彰(架装係・人事総務部)	○
5	リスク管理	緊急事態への対応	* 想定と未然防止策、対応訓練の実施 * 新型コロナウイルス対応他、BCPの策定	油洩れ対応訓練と避難訓練・消火訓練の実施 BCP冊子作成取組中	○ △
		法定要求事項への対応	* 外部研修会参加・社内勉強会	法改訂につき金属アーク溶接作業特化則について(社内)の勉強会実施等	○
6	コンプライアンス	製品の安全性の追求と検査体制の充実	* 不具合発生状況把握と未然防止策の徹底 * 入出庫時の検査体制強化と情報の共有	不具合要因分析まとめ実施及び周知 【工程表】スレッドにて共有	○ ○
		情報の共有化	* 社員教育の実施と記録公開・社内報の発行	社内報の第2号・第3号・第4号作成配布	○
7	コミュニケーション	チョコ案の提出率100%の継続	* 毎月ひとり1件以上チョコ案を提出	毎月一人1件以上提出継続(92ヶ月)	○
		社外情報発信・公開	* HP・SNSによる情報公開更新	HPにてブログや納車実績を掲載facebookで情報などを投稿継続	○
		地域連携・貢献	* 会社周辺清掃・交通安全周知活動への参加・寄付活動(ボトルキャップ)	エコキャップ回収や会社周辺清掃活動の実施	○
8	人間尊重	組織活性化と職場環境改善	* カエル会議の実施・社員と面談実施	全社員参加しカエル会議活動報告会を開催	○
		自己啓発意欲の醸成	* 資格取得支援・外部セミナーへの派遣	大型自動車免許取得他計画通り実施	○
		社員の安全確保と健康維持	* 職場巡視・労災対策と未然防止・安全衛生標語募集	・毎月1回安全パトロール実施 ・転倒防止研修会参加 ・安全衛生標語「春夏秋冬」のテーマ別に多数応募	○
9	総合的環境経営	環境経営システム構築・運用	* 経営会議・EA21認証継続	毎月経営会議実施・EA21更新審査実施。継続認証	○

## 13.環境関連法等の順守状況、苦情訴訟等の有無

### ■該当する環境関連法規等とその遵守状況

当社では、下記の環境関連法規が適用されますが、その遵守状況を確認した結果、問題ありませんでした。

- ◇廃棄物処理法 ◇自動車リサイクル法 ◇フロン排出抑制法 ◇家電リサイクル法
- ◇大気汚染防止法(VOC関係) ◇悪臭防止法 ◇PRTR法
- ◇水質汚濁防止法(油水分離層) ◇浄化槽法
- ◇騒音規制法・振動規制法(山形県生活環境の保全等に関する条例)
- ◇消防法並びに山形市火災予防条例 ◇高圧ガス保安法 ◇労働安全衛生法(有機則)

### ■苦情・訴訟の有無

環境面での訴訟は、創業以来ありません。また、外部からの環境に関する苦情は、過去3年間ありません。

## 14.次年度のEA21環境経営目標及びEA21環境経営計画

	企業価値決定要素	環境経営目標	環境経営計画(取組内容)
1	環境負荷削減	二酸化炭素排出量の削減(前年度1%削減)	*ノーマルデーの実施(第一水曜日)の継続 *車両の点検及び走行記録の徹底
		一般廃棄物と産業廃棄物量の削減(基準年度3%削減)	*端材量の削減・分別の徹底・産廃契約書管理
		水使用量の削減(前年度1%削減)	*用水の適正使用(節水の呼びかけ)継続
		化学物質対応の管理	*特殊健診の実施・作業環境測定の実施・PRTR使用量の届出・有害物質の使用量削減
2	製品開発・販売	製品開発・サービスの充実	*重機積みの新環境適合ラベル(ゴールドラベル)取得 *標準ポデー・標準パーツの三次元化
		標準化台数の拡大と作業工数の削減	*作業工程改善の実施
		受注から出荷までのリードタイム削減	*新基幹システムを活用した整流化促進
		適正な在庫管理	*指定在庫金額の圧縮
		技術力の向上	*技術の伝承・勉強会の実施・作業マニュアル作成
3	顧客満足	完成車イメージの共有化	*三次元画像、データによる提案・設計の三次元化促進
		車両製作プロセスの共有化	*車両のデジタル検収実施
		「顧客の声」収集とフォロー	*納車車両アンケート実施と社内データ化と有効活用
4	施設・設備管理	設備・機械の維持管理の徹底	*法定点検・年次点検・特定自主検査・月次点検表活用
		効率を上げ負荷を軽減するための3S活動の継続	*部門に合わせたパトロール活動と部門間連携態勢構築
5	リスク管理	緊急事態への対応	*想定と未然防止策、対応訓練の実施 *新型コロナウイルス対応他、BCPの策定
6	コンプライアンス	法定要求事項への対応	*外部研修会参加・社内勉強会
		製品の安全性の追求と検査体制の充実	*不具合発生状況の把握と未然防止策の徹底 *入出庫時の検査体制強化と情報の共有
7	コミュニケーション	情報の共有化	*社員教育の実施と記録公開・社内報の発行
		チョコ案の提出率100%の継続	*毎月ひとり1件以上チョコ案を提出
		社外情報発信・公開	*HP・SNSによる情報公開更新
		地域連携・貢献	*会社周辺清掃・交通安全周知活動への参加・寄付活動(ボトルキャップ)
8	人間尊重	組織活性化と職場環境改善	*カエル会議の実施・社員と面談実施
		自己啓発意欲の醸成	*資格取得支援・外部セミナーへの派遣
		社員の安全確保と健康維持	*職場巡視・労災対策と未然防止・健康診断の実施・安全衛生標語募集
9	総合的環境経営	環境経営システム構築・運用	*経営会議・EA21認証継続

## 15. 代表者による全体の評価と見直しの結果

当社は主にトラックボデーの製造やメンテナンスに関わる事業を通して、ステークホルダーの皆様の利益・事業・生活・環境等をより豊かにしていく持続的な企業を目指しています。

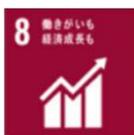
持続的な企業を目指す以上、お取引先はもとより社会から信頼を得るとともに、企業体力をつけていくことが不可欠です。高機能・高付加価値のトラックボデー製造・販売を主とした事業活動を展開するうえで、エコアクション21環境経営システムを構築・運営し、様々な施策を展開することで、組織力の強化、創造的職場の形成が図られ、企業価値向上につながるほか、社会的に求められる環境や人権等に配慮した経営が実現するものと確信しております。

個別数値目標に未達はあったものの、全体的には概ね計画通りの活動ができ、業績や顧客からの信頼などに反映できたと思っています。

また、新環境基準適合ラベル(ゴールド)を取得したことは当社の環境経営の取組みの一端を示すとともに、取引先を通じ社会に安心を感じていただけるきっかけになることを期待しています。今後もこの取組みを継続することで、一層の環境負荷低減、企業価値向上を通じ社会に貢献して参ります。

私たち、いそのボデーは、個性あるトラックボデーメーカーとして、さまざまな挑戦を続けています。

また、SDGs達成に向けて取組み持続可能な社会作りをしていきます。

項目	関連するSDGsのゴール	SDGs達成に向けた取組
地球温暖化への取組	  	2011年より「エコアクション21」への取組みを開始しております。CO <sub>2</sub> 総排出量削減当の中長期数値目標達成に向けて、全社員で環境経営改善活動を継続してまいります。
イノベーション	  	ドライバーのリスク軽減や配送効率化に繋がるトラックドア開閉システムの特許取得等、独自技術を用いた製品製造を行っており、今後も持続可能な発展に寄与していきます。
健康経営の推進	 	健康優良法人の認定を受けており、独自の健康教室の実施等を行っております。今後も従業員の心身の健康を守ること「安全・安心な労働環境」の構築に努めてまいります。

この環境レポートは、ご希望の方に差し上げています。  
ご希望の方は、本社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡  
ください。また、当社HP (<http://www.isono-body.co.jp/>),  
エコアクション21中央事務局のHP (<http://www.ea21.jp/>)でも  
ご覧いただけます。

〒990-2226 山形市西越25番地  
**株式会社 いそのボデー**  
TEL023-624-1711 FAX023-632-0681



HP



Facebook



Instagram



SDGs



新環境基準ラベル  
(ゴールドラベル)



地域未来牽引企業



2021  
健康経営優良法人  
Health and productivity